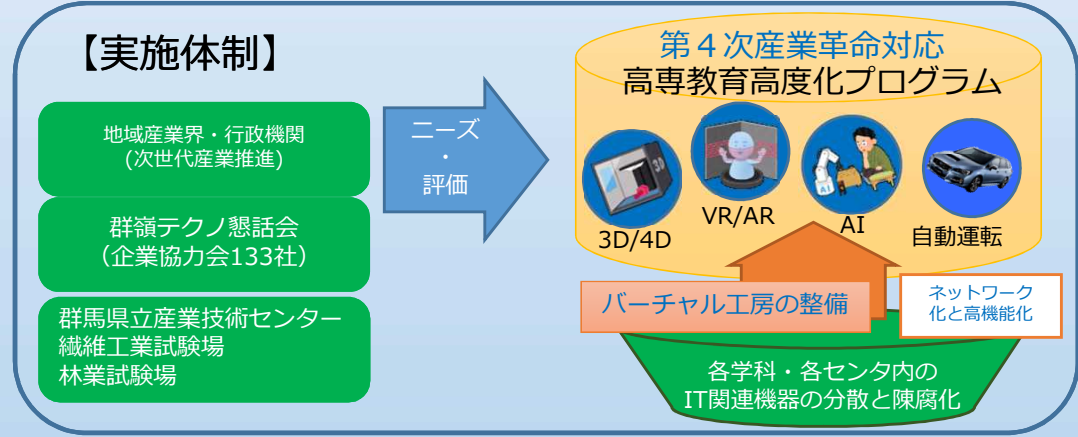


【取組の目的、内容】

「ものづくり県」に立地することを生かして、「情報活用に強く、協働ができるエンジニア」の育成を図り、新産業を牽引できる学生を群馬県はもとより、日本国内に輩出する。具体的に、1) 第4次産業革命に対応する教育の高度化を図るため、その基盤となるバーチャル工房を整備する。2) この工房を学科横断的に活用し、本科工学実験、専攻科PBL実験等に展開する。3) 新産業関連分野における学内外の連携により、高度高専教育を実現し、地元産業界へ技術相談等を通じて貢献する。さらに、当該分野における人材の育成をはかり、群嶺テクノ懇話会とも連携し、その成果を地域へ還元する。

【工程表】



	本科	専攻科
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーチャル工房の整備</li> <li>科目シラバスの検討</li> <li>講義内容の試行と検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーチャル工房の整備</li> <li>環境工学専攻でのPBL科目シラバスの検討および関連企業との調整</li> </ul>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科での新規科目開設・実施</li> <li>学内外組織による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全専攻におけるPBL科目の開設・実施</li> <li>講義内容の改善</li> <li>学内外組織による評価</li> </ul>
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質工学科、環境都市工学科での新規科目開設、実施</li> <li>学内外組織による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学内外組織による評価</li> </ul>
平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>高専教育高度化プログラムのパッケージ化と他高専等への学外展開</li> </ul>	

【成果指標】

- 群馬県が掲げる次世代産業6分野（次世代自動車、ロボット、医療・ヘルスケア、環境・新エネルギー、観光産業、コンベンション関連産業）への就職者数の増加：本科5名（H26～28年度平均）→ 8名（H30年度）、専攻科2名（H26～28年度平均）→ 3名（H30年度）
- 地域企業からの技術相談件数：60件（H26～28年度平均）→ 70件（H30年度）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 学科横断的な取組により、第4次産業分野を担う情報活用人材育成の教育プログラムを確立する。
- 他高専との連携により全国展開し、スケールメリットを生かした高専教育の高度化を実現する。
- この成果をもとに専攻科等の改組へつなげる。